

民生委員・児童委員の各地区での活動をご紹介します

問い合わせ 社会福祉グループ (☎⑧1911)

民生委員・児童委員は、地域住民の困りごとの相談相手になるなど、地域福祉の担い手として活動しています。市内では6地区の協議会を構成しています。先月に続き、残りの3地区の活動状況をご紹介します。

中央西地区民生委員児童委員協議会 ～市外研修～

地域福祉の担い手として知識を得るために、年1回福祉施設などを訪問する市外研修を実施しています。

今年度は、道内では有数の規模を誇る複合型社会福祉施設を運営している社会福祉法人クピド・フェア（岩見沢市）を訪問し、福祉理念や支援体制について学びました。

同法人では、高齢者や障がい者が入所・通所する複数の施設を運営していて、障がいのある方が仕事をしている現場などを見学しました。

研修で学んだことを今後の地域見守り活動に生かしていきたいです。



美園・若草地区民生委員児童委員協議会 ～防災セミナー受講～

災害に対する備えについて学び、防災意識を高めることを目的に、くにもと内科循環器科主催の防災セミナーを受講しました。

セミナーでは、災害派遣医療チームとして活動された講師から災害時の備えについての講話を聞いたり、災害時の食事を試食するなど、災害に備えて準備しておくべき物・事について学びました。

日頃から、家具の転倒防止や食料の備蓄など対策すべきことがあると改めて感じました。

民生委員として地域の方々と日頃からコミュニケーションを取り、災害時に協力して助け合える関係性を築いていきたいです。

緑陽地区民生委員児童委員協議会 ～地域関係団体との懇談会～

地域の見守り活動をする上で地域関係者とのつながりを持つことを目的に、町内会や学校関係者と年に1回懇談会を開催しています。

日頃から関わりのある町内会だけでなく、学校関係者ともお互いの活動について情報交換を行っています。

地域関係者でコミュニケーションの場を設けることで、いろいろな視点から地域の情報を得ることができ、民生委員活動においても有意義であるため、これからも本懇談会を継続して開催していきたいです。



第19回 チャレンジ!! ゼロカーボン

トップランナー基準をご存じですか？

問い合わせ 環境対策グループ (☎⑧2958)

【出典】(スマートライフおすすめBOOK 2024)

トップランナー制度とは、家電製品を含む機械器具などでエネルギー消費効率が最も優れているものをトップランナーとして、その性能に加え、技術開発の将来の見通しなどを勘定して目標となる省エネ基準を定める制度です。この基準をトップランナー基準といいます。

お財布にも環境にも優しいので、トップランナー機器への買い替えを検討しませんか。

冷蔵庫

最新型の冷蔵庫は消費電力量が抑えられるため、たくさん入れても電気代はぐんと安くなります。



エアコン

最新型のエアコンを使用すると、電気代を節約できるだけでなく、便利機能や、快適機能が満載です。



LED照明器具

省エネであるだけでなく、ランプ交換の頻度が少なくなるなどメリットがたくさんあります。

蛍光灯シーリングライトからLEDシーリングライトへ取り替えると



白熱電球を電球型LEDランプに取り替えると

